



# 赤ちゃん無事保護

## 仙台・連れ去り

# 身代金目的 誘拐の疑い 男女2人逮捕へ

仙台市宮城野区の光ヶ丘スperlマン病院から、近くの会社員、山田斉さん(二七)の生後間もない長男、柊羽(しゅう)ちゃんが男に連れ去られた事件で、八日午前六時ごろ、宮城野区内で柊羽ちゃんが無事保護された。事件発生から約五十時間ぶり。体温が下がっているが、命に別条はないという。

連れ去り後、病院長あてに現金六千五百五十万円を要求する脅迫文が届き、仙台東署捜査本部は同日、身代金目的誘拐などの疑いで五十代の男と三十代の女の取り調べを始めた。容疑が固まり次第、逮捕する。病院側によると、身代金は支払われていない。

八日午前五時三十分ごろ、犯人とみられる人物から「国立病院の裏に赤ちゃんを解放した」との電話が光ヶ丘スperlマン病院に入った。電話が指摘したとみられる宮城野区内の仙台医療センター近くを捜査員が搜索したところ、柊羽ちゃんを見つけた。

連れ去られた時と同じ産着姿で、毛布に包まれた状態で発見。運ばれた病院で柊羽ちゃん両親が本人と確認した。

事件は、六日午前三時四十分ごろ、マスクをした男が、病院三階の三〇七号室に「火事だ」と叫んで押し入り、母、弓美(ゆみ)さん(二三)の隣で寝ていた柊羽ちゃんを連れ去った。七日未明、病院近くの新聞販売店のガラス戸に、脅迫文入りの封筒が張り付けられているのが見つかった。

脅迫文は志村早苗院長(五九)を名指しして、大きな貸しがある」と一方的に主張。JR仙台駅から七日夜に出発する便を指定し、現金を持って宮城県石巻市の石巻駅へ向かうことなどを指示した。病院に七日夕、取引に応じるよう電話があった後、午後九時半すぎに仙台駅に到着した院長の携帯電話に「石巻に来てください」と連絡。院長が「赤ちゃんも一緒ですか」と尋ねると電話が切れたため、指示通りに電車に乗った。

捕らえられた時と同じ産着姿で、毛布に包まれた状態で発見。運ばれた病院で柊羽ちゃん両親が本人と確認した。

事件は、六日午前三時四十分ごろ、マスクをした男が、病院三階の三〇七号室に「火事だ」と叫んで押し入り、母、弓美(ゆみ)さん(二三)の隣で寝ていた柊羽ちゃんを連れ去った。七日未明、病院近くの新聞販売店のガラス戸に、脅迫文入りの封筒が張り付けられているのが見つかった。

脅迫文は志村早苗院長(五九)を名指しして、大きな貸しがある」と一方的に主張。JR仙台駅から七日夜に出発する便を指定し、現金を持って宮城県石巻市の石巻駅へ向かうことなどを指示した。病院に七日夕、取引に応じるよう電話があった後、午後九時半すぎに仙台駅に到着した院長の携帯電話に「石巻に来てください」と連絡。院長が「赤ちゃんも一緒ですか」と尋ねると電話が切れたため、指示通りに電車に乗った。

その後、パーキングエリアで待機していた八日午前零時三十二分ごろにかかってきた電話で、「三陸自動車道を」仙台方向に走って九キロの標識まで来て十分待て」と指示され、出発直後の午前一時六分には「時間稼ぐのやめてくださいよ」と五回目の電話があった。

【おことわり】上毛新聞社は被害者の生命の安全を守る立場から、身代金要求などの取材、報道を控えてきました。



無事保護を受け報道陣の質問に答える光ヶ丘スperlマン病院の志村早苗院長(右)ら。写真上は、柊羽ちゃんが見つかった病院付近にある建物の入り口付近を調べる捜査員。8日午前、仙台市宮城野区